

平成29年度 第1回 久留米市循環型ごみ処理委員会議事録

日 時	平成29年7月28日（金）13時00分～（14時06分終了）
場 所	久留米市役所 3階308会議室
委 員 員	<p>（出席）</p> <p>会 長 本村 康人（久留米商工会議所会頭）</p> <p>副会長 柴本喜久男（久留米市地区環境衛生連合会会長）</p> <p>委 員 野口 定敏（久留米南部商工会会長）</p> <p>委 員 谷口 邦博（久留米東部商工会会長）</p> <p>委 員 橋村 芳隆（田主丸町商工会会長）</p> <p>委 員 池田 博子（久留米市女性の会連絡協議会会長）</p> <p>委 員 横溝 敏子（田主丸町地域婦人会連絡協議会会長）</p> <p>出席10名 委 員 永松 千枝（久留米市北野女性の会会長）</p> <p>欠席3名 委 員 三原 圭子（消費者連絡協議会 環境問題を考える会 代表）</p> <p>委 員 馬場裕見子（上津の里 代表）</p> <p>委 員 葉山アツコ（久留米大学経済学部准教授）</p> <p>委 員 橋本 政孝（久留米市副市長）</p> <p>（欠席）</p> <p>委 員 山下 浩子（久留米信愛女学院短期大学フードデザイン学科 学科長）</p>
事 務 局	<p>今田環境部長、平田環境部次長、熊本施設運営担当次長兼施設課長、</p> <p>近藤資源循環推進課長、田中建設課課長、吉山廃棄物指導課長、</p> <p>馬田環境建設課長（田主丸）、藤吉環境建設課長（北野）、</p> <p>塚本環境建設課長（城島）、岡環境建設課長（三潴）</p>
傍 聴 者	なし
委員会次第	<p>1 開 会</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 正副会長選出</p> <p>4 報告事項</p> <p>（1）平成28年度久留米市のごみ量について</p> <p>（2）分別の変更について（ペットボトル、容器包装プラスチック）</p> <p>（3）食品ロス削減の取り組みについて</p> <p>（4）ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理の推進について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>

<議事録>

<b>4. 議事（1）平成28年度久留米市のごみ量について</b>	
事務局	「(1)「平成28年度久留米市のごみ量について」事務局より説明
会長	ただいまのご説明に関して、ご質問・ご意見等はありませんか？
委員①	表の示し方だけでも、久留米市の人口は増えているにもかかわらず、ごみの量は減っていると理解できると思うが、一人当たりのごみ排出量がどのように変化したか、人口と一人当たりのごみ排出量を一緒に表記してもらえるともう少し分かりやすいのではと思います。
事務局	人口は前年度から420人増だが、世帯数は1,850世帯ほど増えています。世帯が増えればごみは増えるのだけれども、結果として減ったということです。 ちなみに、資料1の下に久留米市の目標値を記載していますが、市民一人一日当たりの排出量、全体のごみ量を365日で割り、さらに人口で割ったもので、平成32年度の間目標が943gに対し、平成28年度の実績が908gということですので中間目標はクリアしている。ところが、最終目標は平成37年度で888gですので、あと20g減らさなければいけない。これを全体にカウントすると、平成37年度までに約5,000t頑張ろうという目標ですので、達成できるようにしっかりやっていきたいと思っています。 また、グラフについては、委員がおっしゃいますように、わかりやすい形を取り入れていきたいと思っています。
委員②	合併してから今年度まで2,600tからのごみ減量ということは、とても素晴らしいことだと思います。確かに、合併時1市4町ごみ問題に関しては、(制度が)バラバラでありました。私もいろいろ意見を言っていたが、ごみ袋や粗大ごみの出し方などがバラバラで、今回のようにごみ減量につながったのは行政の努力、また市民の皆さんの努力の賜と思いますが、特に北野町では、今までは粗大ごみが月に1回車で持っていかないと持っていけなかったが、今回のように電話1本で玄関先まで粗大ごみを取りに来てくださるというのは住民から多くの喜びの声を聞いています。 また、宮ノ陣クリーンセンターができた時、北野町はサン・ポートまで持っていかなければいけなかったのが、すぐ近くにあるのに何故宮ノ陣に持って行けないんだとの声もあり、今年度から宮ノ陣に土曜日も含めて終日持っていけるようになりました。これも、北野町の住民にとっては喜びの声だと思っています。 このように、ごみ減量がかなりの数字で成果が上がっていることに、努力と感謝の気持ちがありますし、私たち女性の会としても3R、特にリデュースに対しては力を入れていきたいと思っています。

委員③	<p>総ごみ量が1,900t、家庭から出るごみが2,600t減ったということですが、説明の中で28年度から開始した新しい分別方法やごみ袋の改定の成果だと私たちも考えています。私は地域の立ち番で地域の方と話す中、また消費者連絡協議会での意見交換などでも、「目に見えてごみが減ったね。」というような話題がよく出ています。これは、皆さんの考え方も、ごみを減らしていこう、リサイクルしていこうとの考え方が出てきたと思います。現在週2回収しているが、どのくらい収集量が減ったのかお尋ねしたいと思います。</p>
事務局	<p>週2回、月曜・木曜もしくは火曜・金曜で可燃ごみを収集していますが、全体で約2,500t減っています。北野町を例にとりますと、北野町では可燃ごみが6,600世帯で月約250t出ていまして、この10ヶ月分に相当します。</p>
会長	<p>それは誰が計算するのですか。</p>
事務局	<p>工場に車両が入ったら機械が計量して、私どもにデータがきます。</p>
委員③	<p>ごみの減量は、生ごみの水切りがとても大事なことだと思っています。まだまだ、私たち市民にもできることはたくさんあると思うので、市民一人ひとりが無理のないようなごみ減量ができるように私たちも努力しますが、行政の方からの指導も是非お願いしたいと思います。</p>
	<p><b><u>4. 議事(2) 分別の変更について(ペットボトル、容器包装プラスチック)</u></b></p>
事務局	<p>「(2) 分別の変更について(ペットボトル、容器包装プラスチック)」事務局より説明</p>
会長	<p>皆さんからご意見・ご質問はありませんか。</p>
委員④	<p>田主丸だけが、今の久留米市のやり方に合わせるということを言われたのか。</p>
事務局	<p>田主丸だけ、容器包装プラスチックだけを分別する仕組みがないものですから、新たに採用しようということです。</p>
委員④	<p>田主丸は発泡スチロール等は燃やせるごみで出してあるのでしょうか。また、田主丸のごみは宮ノ陣クリーンセンターに持って行ってないのでしょうか。それからすると、あまり意味のないような気がするが。</p>
事務局	<p>これについては、うきは市も足並みを揃えていくようになっています。ただ、ペットボトルのラベルについては絶対剥がさないといけなくなるので、それに合</p>

委員④	<p>わけて同じ分別方法にしていこうということです。</p> <p>ごみ処理の方式がPDFとなると、ある程度のものが必要になってくるという感覚があるので、燃やせるごみで問題ないのではという気がするのですが。</p>
事務局	<p>ただ、RDFとして出せば、その分お金がかかるわけですので、できるだけ出す量を減らすと出費も減るということもあります。</p>
委員④	<p>RDFの方式はいつまでやるつもりですか。</p>
事務局	<p>今のところ、いつまでということをはっきりと出していません。</p> <p>いつまでをRDF処理するということは決めておりません。</p>
委員④	<p>要するに今のままをこれからも続けていくということですか。</p>
事務局	<p>今のところ、今の分別の収集と燃やせるごみの収集は続けていくことになっていきます。</p>
会長	<p>続けていなくても、委員の言うようにみんなと同じようにならないのでしょうか。それを聞いてあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご存知のとおり、田主丸の場合は合併前にうきは市との一部事務組合で、先ほど言われましたようにRDF処理して、大牟田市内のリサイクル発電の方に持ち込んで発電されていたという経緯があります。合併後も、その方式を続けていまして旧久留米市の処理方式と異なっているという状況で、ごみ処理が行われているところです。久留米市の考え方についてはいつの場でも言っていますが、最終的には域内処理、久留米市のごみは久留米市内で処理すると考えています。うきは久留米一部事務組合からはいつの時点かで脱退しごみ処理をしていく形になるという方向で進めていきたいと考えています。</p> <p>ただし、時期については、大牟田リサイクル発電の関係で、平成34年までは今のやり方を続ける必要があります。その後、どのような形になっていくのか。久留米市とうきは市の2市だけの組合ですので、うきは市の動向等も踏まえた中で最良の方向で進めていく必要があります。先ほどのとおり、今の段階でいつの時点でどうと中々言えない状況ですので、そのあたりはご理解いただきたいと思いますが、少なくともそういった時期の中で適正な時期に久留米市のやり方に統一していきたいと考えているところです。</p> <p>先ほど現物で説明させていただきましたが、新しい取り組みを進めていくということと変更のお知らせについてですが、一発目が「8月15日号の広報くるめ」、あと総合支所では「支所だより」を出しますし、環境衛生連合会の会報や環境部独自の広報紙など様々な方法を通してお知らせをしていきます。また、ごみ集積所にも看板を設置しようと思っています。ごみは集積所に出しに行きますので、</p>

	<p>そこで「ペットボトルのラベルは剥がしましょう」と目につくようにお知らせをしていきたいと考えています。</p>
委員①	<p>容器包装プラスチックの分別はどれくらい徹底して実施されているのでしょうか。私の住んでいるところを見ると従来の方法と同じように出ていると見ているのですが、実施率は。</p>
事務局	<p>割合として数字で中々表すことはできませんが、集まった量を見ていきますと日ごと、月ごとに徐々に増えていっています。昨年と今年を同じ月で比較しますとかなり増えていきますし、燃やせるごみの量も見ながら、比較をしています。</p> <p>ペットボトルの分別収集を始めた時も最初はかなり少なかったですし、それから年数をかけて徐々に増えていったということもありますので、(容器包装プラスチックは) 始まって1年3ヶ月ですのもう少し経過を見ていきたいと思っていますところでは。</p>
委員③	<p>10月からペットボトルや容器包装プラスチックの分別が変わるのであれば、前のように校区や町内に来てしっかり説明していただきたいと思います。広報紙には出ても、お年寄りなどはあまり読むことはあまりないと思いますので、本日のごみ量が減っているということも併せてお知らせいただければと思います。</p>
<p><b>4. 議事(3) 食品ロス削減の取り組みについて</b></p>	
事務局	<p>「(3) 食品ロス削減の取り組みについて」事務局より説明</p>
会長	<p>皆さんからご意見・ご質問はありませんか。</p>
委員④	<p>小売店の区分でコンビニが入っていないのは何か意味があるのですか。</p>
事務局	<p>食べもの余らせん隊の登録の条件にばら売りや量り売り、割引販売などがあります。資料3をご覧ください。中々コンビニではばら売りや量り売り、割引販売などはやれませんので。</p>
会長	<p>コンビニでは、余った弁当などを処分してはいけなかったのでは。安く売ったり、子どもなどにやるようになっていたのでは。</p>
事務局	<p>安売りしないように、ごみとして処分しましょうと。</p>
委員⑤	<p>全部回収でしたよね。</p>
委員④	<p>それからすると、コンビニが入っていないというのが。コンビニは食品に対し</p>

事務局	<p>ての感覚が強い業種ではないのだろうか。そういうところに、なるべく入っていただいて取り組んでもらった方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>掲示などできることをポスターやっってもらうという意味では、福岡県の会議の中でもそういった意見として述べさせてもらいたいと思います。</p>
委員③	<p>よく私たち持ち帰りをしたいと思っても、衛生上ということでお店によっては「ダメです。」と断られるけれども、あれはもったいない話だと思います。これは、保健所の関係もあるでしょうから、そのあたりを何とかしていただけたらと思います。自己責任ということで。</p>
<p><b>4. 議事（4）ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理の推進について</b></p>	
事務局	<p>「（4）ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理の推進について」事務局より説明</p>
会長	<p>皆さんからご意見・ご質問はありませんか。</p>
委員⑤	<p>これは、蛍光灯も入っているわけですよね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員⑤	<p>要するに、昔の蛍光灯のピカピカピカとなって点くものですよね。</p>
事務局	<p>はい。安定器がそうです。</p>
委員⑤	<p>これは全家庭に周知しないと。器具を変えなければとなるわけですか。</p>
事務局	<p>安定器はあくまで事業系です。家庭用の照明器具ではPCBは使用されていません。</p>
委員⑤	<p>おそらく一般の工場とかでは認識がないと思うが。要するに電気工事店などから周知しなければ、情報が手に入らないものだと思うので、市の方でも全戸配布の周知をしないと、平成33年3月までであるし、古い事業所などになるとお金もかかることでもあり、どう対応していくかという問題もあるので。</p>
事務局	<p>安定器につきましては平成33年3月というのがあり、国の方も掘り起こしのマニュアル等を作っている段階ですので、そういった所とも協議をしながら、周</p>

会長	<p>知についていろいろ考えていきたいと思います。 ほかに全体的なことでもいいので何かありますか。</p>
委員⑥	<p>私たちは生産農家なので、安心安全な野菜を皆さんに提供するために頑張っているところです。やはり、野菜も命あるもので、それをいただくということですから、食品ロスの話などを聞くととても悲しいなと思っています。</p> <p>私たちは、第3日曜日に宮ノ陣のクリーンセンターで上津と宮ノ陣の朝市の会合同で朝市をやっているところです。上津は、乾燥生ごみと私たちが作っている野菜との交換をやっています。中々乾燥堆肥を作っても土地がなかつたりして還元できないので、私たちがそれをいただき、畑にまいて野菜を作るということをやっています。私の家で、牛糞堆肥などを使うのですが、飼料に加工先の野菜の種などが入っており、何年も使っていると今まで見たこともない雑草が生えてくる。そうすると、生態系が壊れるのではとの危機感があるので、なるべく乾燥後の生ごみなど自分たちのものを使って野菜を作ることが一番いいことではと感じているところです。そういうことを、消費者の方に話をしながら販売することを考えて広げていったらいいのではと思っています。</p>
委員⑦	<p>ごみ減量することは大変ですが、宮ノ陣クリーンセンターが新しくできまして、女性の会でもバスを貸し切って見に行かせていただきました。本当に立派なものができて、現時点での最先端というような立派なクリーンセンターを作っていただきましたので、私たちはそこで説明を聞いて、「やはりごみは出してはいけね。」と勉強をしたのですが、クリーンセンターに見学に来られる団体というのは、今でも多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度は、ほとんどの小学校の皆さん、環境衛生連合会、女性の会の皆さんなどがお見えになりました。今年度は、昨年度と同等、もしくは上回るペースでお見えになっていただいています。また、皆さんがよく分かっていたける、楽しんでいただけるような企画もやっていきますので、また今年もおいでください。</p>
委員⑦	<p>私どものある会員さんが、女性の会で見学に行つて「立派ねえ。やはりごみは出したらいかんね。」など認識を持ちましたので、行かない団体がおられるから、「見に行つて、ごみを出さない、ごみを少なくするというに協力しなければいけないね。」という話をしました。いろんな方が宮ノ陣クリーンセンターを見に行つて、私たちの税金で作られたクリーンセンターであつて私たちも協力して見に行かなくてはならないと思います。</p> <p>もうひとつですが、ここにペットボトルのキャップについて書いてあるが、私は小さな親切運動に入っています。小さな親切運動では、キャップを集めて、発展途上国の子どもたちにワクチンを送つてあり、この前の総会でも、20数団体が表彰を受けておられました。これは捨てずに集めていただくとごみの減量にも繋がるかなと思いますので、コミセンなどでも集めてあるので、よかつたら周知をしていただけたらと思います。</p>

委員④	<p>朝倉の災害ごみは、福岡市と北九州市は受け入れていると聞いたことがあるが、久留米市も受けてあるのでしょうか。また、受け入れた際の処理費用というのはどうなるのでしょうか。どこが持つのでしょうか。</p>
事務局	<p>久留米市も福岡県の調整により、7月17日から東峰村の災害ごみを受け入れています。7月26日現在で約100tのごみを受け入れており、昨日も今日も入ってきている状況です。</p> <p>また、処理費用についてですが、当然久留米市の皆さんの税金でやっておりますので、決算に基づきましてトン当たりの単価を被災地からいただきます。被災地には国からほぼ100%に近い補助金が出ますので、被災地の負担はほぼありません。</p>
	<p><b><u>5. その他</u></b></p>
会長	<p>それでは、本日予定されていましたが議事は終了いたしました。事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>ありません。</p>
会長	<p>副会長何かありますか。</p>
副会長	<p>ありません。</p>
会長	<p>それでは、終了いたします。</p>